

9条に
自衛隊明記

安倍9条改憲ノ



9条改憲反対の署名を訴え(右は山下よしき参院議員・党副委員長)

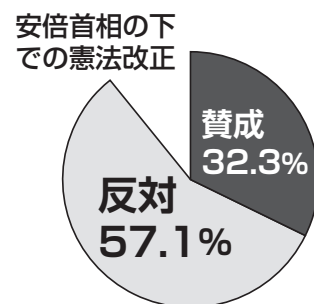
若者も自衛隊も

戦場に送らない



日本共産党

今年の国会で、改憲案提出を狙う自民党。
「憲法9条2項を残したまま、自衛隊を書き込むだけ」と安倍首相は言いますが、「後からつくった法律は前の法律に優先する」という法律の原則によって、「戦力不



「共同」4月14・15日調査

保持」の9条2項が空文化し、自衛隊の海外での武力行使が無制限になります。世界に誇る平和主義をさだめた9条によって、逆に海外での武力行使が可能になってしまう——これこそが、安倍首相の9条改憲の正体です。

「二度と戦争しない」世界への誓い

日本国憲法

第九条

①日本国民



は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

9条って何ですか？

日本は15年間の侵略戦争でアジア・太平洋諸国民2000万人以上、日本国民310万人以上の命を奪いました。その痛苦の反省から「二度と戦争しない」という決意をこめ、憲法9条に「戦争放棄」「戦力不保持」を書き込みました。9条は全世界への平和の誓いです。

9条があるからこそ、自衛隊が海外で人を殺したり、殺されたりしたことは一度もありません。9条のおかげで軍事予算の巨大化も抑えられました。9条は日本が平和国家として発展、繁栄してきた礎です。

米英仏
シリア攻撃は
暴挙

米トランプ政権は13日、シリア政府側が化学兵器を使用したと断定し、英仏とともにシリアに軍事攻撃しました。化学兵器の使用は許されない行為です。しかし国際社会による事実の確認もなく、国連安保理の決議もない国際法違反の攻撃は、問題の解決につながらず、複雑化したシリア内戦をさらに悪化させ、中東地域の平和と安定に逆行する暴挙です。

北朝鮮問題

非核化と平和体制づくり
一体的・段階的に

北朝鮮の核・ミサイル問題で対話の流れが加速しています。日本共産党は大歓迎です。このチャンスを実らせるには①朝鮮半島の非核化と北東アジア地域の平和体制づくりを

平和的解決
へチャンス

一体的・包括的にすすめること②その実行に当たっては合意できる措置を話し合い、段階的に実施して目標に近づいていくことが現実的です。